



日本を、もっと健やかに。

「大阪府循環器病対策推進計画(素案)」パブリックコメントに対する意見

2022年3月16日

以下のとおり意見を申し上げます。

該当箇所:

P7(第2章 循環器病の特徴および大阪府における現状 第1節 循環器病の特徴)

意見1:

循環器病の多岐にわたる病態を正確に表すため、次の一文を追加することを提案いたします。

○ 循環器病には、生活習慣にかかわらず、先天性疾患、遺伝性疾患、感染性疾患、加齢などを原因とする疾患等、様々な病態が存在します。

理由:

上記一文は、国の「循環器病対策推進基本計画」P4「2. 循環器病の特徴並びに循環器病対策に係るこれまでの取組及び課題(循環器病の特徴)」に、当初の案から追記されたものです。

「循環器病」には多くの疾患が含まれます。それらの疾患には、生活習慣だけが原因ではない先天性や加齢によるものも含まれ、それぞれ対策が異なります。各疾患リスクの管理を行うための診断、経過観察、適切なタイミングで治療を行うことが、府民の皆さまの健康寿命延伸に大変重要と考えます。

該当箇所:

P13(第4章 個別施策 第1節 循環器病予防の取組の強化 (I) 循環器病の発症予防や重症化防止などの知識の普及啓発)

意見2:

循環器病の原因の一つの生活習慣病予防に加えて、循環器病そのもの、またその治療法についての知識の普及啓発が必要と考えます。

理由:

循環器病は、適切な治療により予後を改善できる可能性があり、発症後早急に適切な治療を開始する必要があるため、発症の兆候に早期に気づくことや、緊急的な受診の判断方法など速やかに適切な治療につながるための普及啓発が必要です。

優れた医薬品により多くの命が救われていることは事実ですが、例えば、加齢により石灰化した心臓弁を改善する薬は存在しません。一般的に、医療機器による治療は、効き目が即効的で根治的ですが、日本人は欧米

人と比べ外科治療を過剰に恐れ、薬による対症療法を長期間続ける傾向があります。

医療機器も含めた最新の治療方法・選択肢を予め知って正しく恐れることは、疾患について知ることと同じくらい重要なことと考えます。

県民(患者さんやご家族)の皆さまが、循環器病の治療の選択肢を正しく理解することは、アドヒアランス(※患者さんが治療方針の決定に賛同し積極的に治療を受けること)の向上と、予防・診断・治療・予後に必要とされるイノベーションへの理解促進が得られると考えます。アドヒアランス向上は、治療への好循環だけでなく適切なデータの蓄積にもつながります。

該当箇所:

P22(第4章 個別施策 第1節 循環器病予防の取組の強化 (2)循環器病を予防する検診の普及や取組の推進)

意見3:

本計画に引用されている、第3次大阪府健康増進計画においても、以下のように述べられているとおり、心疾患の早期発見・早期治療は非常に重要と考えます。

心疾患は、高血圧や脂質異常症などの悪化により発症する可能性が高いことから、生活習慣の改善による予防や特定健診の受診を通じて早期発見・早期治療へつなげていくことが必要です。

そこで、心不全とその原因疾患の早期診断・治療介入の促進のため、以下を追加することを提案いたします。

○ 循環器病は、早期の診断・治療介入が必要です。BNPまたはNT-proBNPの測定で心不全の、聴診で弁膜症や心房細動の、心電図検査で心房細動の早期診断につながるとする報告があります。循環器病の主要な危険因子である生活習慣病対策のためにも、健康診査等の受診や、行動変容をもたらす保健指導が重要です。

○ 心房細動の発見率向上や心不全の状態をモニタリングするため、デジタル機器を活用して効率的にデータを収集するなど、デジタル技術の導入を推進します。

理由:

心不全はあらゆる心臓疾患の終末像と言われ、その主な原因疾患は不整脈、心筋梗塞、高血圧、弁膜症、心筋症です。毎年の特健診で、血清NT-proBNPの上昇変化により心不全の兆候をつかみ、心雑音の有無や心電図異常により原因を特定・対処できれば、心不全の重症化を食い止めることが可能です。

心房細動などの短い検査時間では発見することが難しい疾患については、県民の健康状態を継続的にモニタ



日本を、もっと健やかに。

リングすることにより発見率の向上が期待されます。また、心不全では、ステージが進むと急性増悪による入院を繰り返すなど、衰弱が加速していきます。この突然生じる心臓のポンプ機能の破綻を、急性増悪が起こる約1か月前に検出することが可能な遠隔モニタリング技術も開発されています。

日常生活にデジタル技術を活用することで、未病の改善、重症化予防、健康寿命の延伸、患者並びに家族のQOL改善、医療費の適正化につながるものと考えます。

なお、「地域のかかりつけ医と多職種のための心不全診療ガイドブック」(厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)を参考にいたしました。

以上

<以下は提出した意見には含まれておりません。>

用語解説:

BNP: ナトリウム利尿ペプチド、BNP 高値は心不全の国際定義に定められており基準値も示されている。

NT-proBNP: N 末端プロ B 型ナトリウム利尿ペプチド、BNP 同様、心不全の指標として国際定義に基準値が示されている。